

古河市議会議員

あなたの声を行政に！ハートフル古川



# 古川かずみ



一般質問の映像をご覧いただけます



新年あけましておめでとうございます。市民の声を行政に反映させるということを心がけながら、議員にならせて頂き、もうすぐ4年が経とうとしています。これも、皆さまの日頃のご支援のお陰と心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。今後も、議員として今できることを一生懸命取り組んでいきたいと思っております。令和4年度第4回定例会が、12/6～12/16まで開催されましたのでご報告いたします。引き続きのご支援よろしくお願いたします。

## 一般質問 1. 飼い主のいない猫の問題について

市民の方から多くお聞きするお困りごとの一つに、飼い主のいない猫、いわゆる野良猫の問題があります。庭先に糞尿をされる、ごみが荒らされる等、生活環境の問題や住民同士のトラブルにも派生し、深刻な問題になっています。野良猫の苦情に対しては、ボランティア団体の方が中心になって対応しているのが現状です。

古河市では野良猫を増やさないために、飼い猫に対して不妊去勢手術の補助金を交付し、室内で飼うなどの適正な飼育を呼びかけています。また、動物愛護活動をしているボランティア団体の啓発活動に対して補助金を交付しています。飼い主の責任が大前提ですが、それだけではすでに野良猫になった猫の繁殖をおさえることはできません。茨城県では地域猫活動を推進し、飼い主のいない猫に対しても不妊去勢手術の補助をしていますが十分ではなく、ボランティアの方々の経済的負担は大きくなっています。小さな命を守るため、また、市民の住環境の保全の観点からも、市も積極的に対策を取るべきだと考えます。飼い主のいない猫に対しても不妊去勢手術の補助を求め、また現在、ボランティア団体に交付されている啓発活動への補助金が不妊去勢手術にも適用されるよう求めました。

## 一般質問 2. 子どもの読書活動推進について

全国の児童生徒に一人一台のタブレットが与えられ、教育のICT化が進められています。学習効果を高める面もありますが、デジタル化が進む時代だからこそ、自分で考え、判断する力を養うために、子ども時代の読書活動が益々重要になると思います。自分で考え、判断することをしなくなると、周りの情報に流され、悪意ある情報に簡単に誘導されてしまいます。子ども時代に読書の習慣を身につけるために、児童生徒や未就学児に対してどのような取り組みをしているのか質問しました。

国は、学校図書館の整備のために、使い方を指定しない一般財源として予算措置をしていますので、市もこれをしっかりと予算化し、学校図書館の蔵書を充実させ、新聞を配置し、図書館支援員を充実させることを求めました。

また、小学生の読書習慣を育成するため、自ら本を選び購入できるよう毎年図書クーポンを配布している自治体の事例を紹介し、一時的にお金を配る支援ではなく、子どもの心を育て、読書習慣の醸成につながる付加価値の高い事業に予算をつけ、一層力を入れて頂くよう要望しました。

## 認定・議案に対する質疑

- ・古河市ブランド戦略立案及び実施委託料(「こがくらす」推進プロジェクト)の委託料8500万円の専決処分について。専決処分にした理由、委託先、委託内容について説明を求めました。
- ・坂長の委託事業者について。前回と同じ委託先になっているので、今後の課題や改善策について質問しました。



# 活動報告



11月7日総務常任委員会で、アンドフリーク、古河ケーブルテレビ(株)、デマンド交通を視察しました。コロナ禍のため県外視察は中止、市内視察となりました。



大井川知事との懇親会で要望書を提出しました。



幸福実現党・積量子党首を迎えてのセミナー & ミニ集会



消えかけの横断歩道きれいになりました



道の駅  
🎄 →

諸事情によりカーブミラー設置は難しく、指導停止線(波線)を引いて頂きました。



## 幸福実現党の主張

豊かになるなら

→ **減税で努力が報われる国へ!**

「安い税金」で仕事をするほど収入が増えれば、働くことが魅力的になります。国民の勤勉の精神を発揮することで、国全体が豊かになります。「小さな政府」で、政府が無駄金をつかわずに税収の範囲内で仕事をすれば、減税ができ、財政赤字も減ります。

逆に、給付金などが行き過ぎると将来の増税につながります。「もらうこと」に慣れると働く意欲が減り、国全体が貧しくなり、ますます財政赤字が増加します。

平和を護るなら

→ **9条改正で国防強化!**

他国に脅されない国になるには、憲法9条を抜本的に改正し、自分の国は自分で守れるようにしなければなりません。また、核を落とされない国となるためには抑止力を高める核装備も必要です。日本の国防強化で、中国から狙われている台湾も守ることができます。日本は、全体主義国家の脅威からアジアを守るリーダー国として使命を果たすべきです。

古川かずみ 1962年9月15日生 大阪出身 おとめ座A型 夫と娘3人

古河市議会議員(会派に属さない議員) / 総務常任委員会 / 幸福実現党 茨城県本部副代表 / 幸福実現党 日台友好議員連盟会長 / 不登校児支援スクール「ネバー・マインド」相談員 / 一般社団法人「ユー・アー・エンゼル」(障がい児支援)相談員

【略歴】同志社女子大学卒業 旅行代理店勤務後、イギリス語学留学。バックパッカーでヨーロッパ・中東諸国を遊学。帰国後、英語塾で専任講師。結婚後古河市に転入。中学校非常勤講師等を経て、令和元年4月より古河市議会議員。

発行:古川かずみ後援会 古河市南町2-10 TEL090-6654-3262 皆様のご意見をお聞かせください

